

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月11日
【四半期会計期間】	第83期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	1,458,898	1,341,087	2,752,834
経常利益 (千円)	132,176	118,355	167,368
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	80,841	69,767	94,083
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	79,144	25,405	213,901
純資産額 (千円)	2,105,772	2,244,232	2,240,530
総資産額 (千円)	3,223,122	3,355,158	3,422,085
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	38.17	32.94	44.42
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.5	64.8	63.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	106,332	56,385	175,575
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	83,936	16,954	123,195
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	55,047	15,179	75,664
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	242,565	197,321	251,931

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.90	14.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、従来開示しておりました「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、従来開示しておりました「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成28年3月期第2四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較してアンブルは好調でしたが管瓶が減少したため昨年実績を下回り、売上高13億4千1百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

利益面につきましては、昨年10月から実施した稼働体制の変更による稼働率や歩留りの向上と経費節減に取り組みましたが売上高の減少が大きく影響し、営業利益1億9百万円（前年同期比11.2%減）、経常利益1億1千8百万円（前年同期比10.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6千9百万円（前年同期比13.7%減）とそれぞれ減少しました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して6千6百万円減少し33億5千5百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が7千3百万円及び受取手形及び売掛金（純額）が3千7百万円増加した一方で、現金及び預金が1億1千5百万円及び投資有価証券が7千4百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して7千万円減少し11億1千万円となりました。主な要因は、未払法人税等が1千7百万円増加した一方で、買掛金が1千3百万円、その他が5千1百万円及び繰延税金負債が2千1百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して3百万円増加し22億4千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が5千1百万円減少した一方で、利益剰余金が4千8百万円及び非支配株主持分が6百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5千4百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1億9千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、5千6百万円（前年同四半期は1億6百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億1千8百万円及び減価償却費3千7百万円があった一方で、たな卸資産の増加8千6百万円と売上債権の増加3千7百万円並びに、未払消費税等の減少による支出3千3百万円及び法人税等の支払2千5百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、1千6百万円（前年同四半期は8千3百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出1億2千7百万円と有形固定資産の取得による支出5千9百万円があった一方で、定期預金の払い戻しによる2億2百万円の収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1千5百万円（前年同四半期比72.4%減）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億円があった一方で、長期借入金の返済による支出9千3百万円、配当金の支払による支出2千1百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小熊 信一	千葉県市川市	976	45.60
小熊 雄二	福島県いわき市	123	5.76
小熊 千恵子	東京都文京区	116	5.43
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	75	3.52
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	62	2.89
江頭 訓	東京都足立区	54	2.52
石川 誉	栃木県鹿沼市	40	1.86
歌川 勝久	東京都小金井市	30	1.40
菊池 方子	埼玉県所沢市	30	1.40
計		1,594	74.44

(注) 所有株式数は千株未満切り捨て、所有株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,100	21,131	
単元未満株式	普通株式 4,800		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		21,131	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,100		24,100	1.12
計		24,100		24,100	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	371,700	255,759
受取手形及び売掛金(純額)	2 689,815	2 727,011
有価証券	19,728	6,731
商品及び製品	457,260	530,697
仕掛品	2,517	2,114
原材料及び貯蔵品	43,240	56,553
未収入金	36,483	37,345
繰延税金資産	45,525	40,962
その他	1,229	1,463
流動資産合計	1,667,501	1,658,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	347,798	366,754
機械装置及び運搬具(純額)	133,779	144,824
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	29,988	18,421
その他(純額)	7,927	8,551
有形固定資産合計	965,590	984,647
無形固定資産	1,511	1,315
投資その他の資産		
投資有価証券	744,745	669,940
その他	50,354	48,233
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	787,482	710,556
固定資産合計	1,754,584	1,696,520
資産合計	3,422,085	3,355,158

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,274	166,424
1年内返済予定の長期借入金	147,800	150,200
未払法人税等	26,356	44,146
未払事業所税	7,409	3,659
賞与引当金	56,563	57,278
その他	170,012	118,529
流動負債合計	588,416	540,238
固定負債		
長期借入金	136,800	141,200
繰延税金負債	173,712	151,766
役員退職慰労引当金	131,277	137,460
退職給付に係る負債	122,591	111,494
資産除去債務	28,758	28,765
固定負債合計	593,139	570,686
負債合計	1,181,555	1,110,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,661,537	1,710,126
自己株式	8,450	8,450
株主資本合計	1,760,769	1,809,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417,205	366,028
その他の包括利益累計額合計	417,205	366,028
非支配株主持分	62,554	68,845
純資産合計	2,240,530	2,244,232
負債純資産合計	3,422,085	3,355,158

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,458,898	1,341,087
売上原価	1,127,313	1,015,627
売上総利益	331,585	325,460
販売費及び一般管理費	208,541	216,180
営業利益	123,043	109,279
営業外収益		
受取利息	51	36
受取配当金	8,224	8,269
受取賃貸料	4,577	4,610
その他	1,842	2,104
営業外収益合計	14,696	15,020
営業外費用		
支払利息	2,043	1,829
賃貸費用	3,362	3,004
その他	157	1,110
営業外費用合計	5,562	5,944
経常利益	132,176	118,355
税金等調整前四半期純利益	132,176	118,355
法人税、住民税及び事業税	20,165	43,779
法人税等調整額	26,569	2,007
法人税等合計	46,735	41,772
四半期純利益	85,441	76,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,600	6,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,841	69,767

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	85,441	76,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,297	51,177
その他の包括利益合計	6,297	51,177
四半期包括利益	79,144	25,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,544	18,590
非支配株主に係る四半期包括利益	4,600	6,815

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,176	118,355
減価償却費	32,626	37,282
賞与引当金の増減額(は減少)	1,926	715
貸倒引当金の増減額(は減少)	179	91
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,297	6,183
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,320	11,096
受取利息及び受取配当金	8,276	8,305
支払利息	2,043	1,829
売上債権の増減額(は増加)	112,143	37,286
たな卸資産の増減額(は増加)	48,739	86,346
未収入金の増減額(は増加)	5,739	8,180
仕入債務の増減額(は減少)	3,130	13,850
未払消費税等の増減額(は減少)	27,020	33,425
その他	16,094	19,208
小計	108,564	36,882
利息及び配当金の受取額	8,273	8,313
利息の支払額	2,079	1,827
法人税等の支払額	8,426	25,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,332	56,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	109,103	127,752
定期預金の払戻による収入	94,099	202,500
有形固定資産の取得による支出	66,545	59,124
投資有価証券の取得による支出	763	788
その他	1,623	2,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,936	16,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	80,000	100,000
長期借入金の返済による支出	93,800	93,200
社債の償還による支出	25,000	-
配当金の支払額	15,734	21,034
非支配株主への配当金の支払額	315	525
その他の支出	197	420
財務活動によるキャッシュ・フロー	55,047	15,179
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,651	54,610
現金及び現金同等物の期首残高	275,216	251,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	242,565	197,321

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	137,098千円	199,360千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	873千円	964千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
運賃及び荷造費	34,051千円	32,859千円
役員報酬	34,271	36,708
給料及び賞与	56,165	58,437
退職給付費用	5,564	5,937
役員退職慰労引当金繰入額	4,297	6,183
賞与引当金繰入額	12,234	11,639
減価償却費	3,256	3,136

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	327,143千円	255,759千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	117,301	65,169
有価証券勘定	32,722	6,732
現金及び現金同等物	242,565	197,321

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,883	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成27年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成27年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成27年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	38円17銭	32円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	80,841	69,767
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	80,841	69,767
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月10日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊集院 邦光

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉本 健太郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。